

STOP! THE格差社会

競争市場の社会から
生活重視の社会へ

◆ 連合長崎2008春季生活闘争県討論集会 ◆



2008年2月2日、長崎市・ホテル矢太樓で81人の構成組織・地協代表者が結集し、連合長崎2008春季生活闘争県討論集会が開催された。

連合長崎・高石哲夫会長の主催者あいさつ、連合本部・逢見直人副事務局長の基調講演に続いて、連合長崎・小石隆事務局長から「連合長崎2008春季生活闘争方針(案)」の提起を受けた。

5年連続の労働分配率低下や9年連続の可処分所得減少の一方、定率減税廃止や社会保険料アップ、物価の上昇で我々の生活は逼迫の度を強めている。非正規労働者の増加は所得の格差につながり、将来の希望に対する格差にまで拡大している。

2008春季生活闘争は、こういった競争市場の社会から生活重視の社会に転換させ、内需を喚起し、誰もが景気回復を実感できるよう変えていくための闘いとして、「分配の歪みの是正」「非正規労働者の処遇改善」「法定最低賃金の引き上げ」「仕事と生活の調和実現に向け、不払い残業撲滅、長時間労働の是正」「衆議院選挙での与野党逆転」などを勝ち取り、公正・公平・安心な社会の実現をめざす闘いとなる。

「連合長崎2008春季生活闘争方針(案)」は、2月22日開催の第29回地方委員会で決定される。

原油価格高騰への緊急対策を県に要請

厳冬のなか、原油価格高騰により日々の暖房費や燃料費が家計を直撃している。また、離島を多く抱える長崎県では農林水産業や交通・運輸産業で経営を圧迫し、労働者の雇用や労働条件のみならず、ライフラインの確保にも甚大な影響を及ぼしている。

連合長崎は2008年2月15日、長崎県に「農林水産業への緊急無利子融資」「交通・運輸事業への欠損補助等」4点の緊急対策を申し入れた。

これに対し石崎産業労働部長は、「都市と地方の格差は大きく、地方では景気の回復感にとほしいなかで、原油高はさまざまな面で地方に影響を与えている。県はこの問題に対しプロジェクトチームを立ち上げ部局を超えて対応している。連合長崎の要請の趣旨を踏まえ、出来る限り県政に反映させる」と答弁、関係9課から具体的回答が示された。



日米地位協定の抜本見直しに向けシンポジウムを開催

2008年1月26日に連合本部主催「日米地位協定の抜本見直しに向けた関係地方連合会対策会議」が、翌27日に連合九州ブロック主催「日米地位協定抜本見直しシンポジウム」が大分市と玖珠町で開催され、連合長崎から田中・山川両副事務局長が参加した。

シンポジウムでは、前泊博盛琉球新法編集局次長の講演「検証・日米地位協定－不平等の源流と基地問題」とパネルディスカッション（コーディネーター・大塚連合本部総合組織局長、パネラー・仲村連合沖縄会長、重野社民党衆議院議員、前泊琉球新法編集局次長）、米軍事演習問題を抱える地元玖珠町実行委員会からの「地元からの訴え」が行われた。

UN I世界大会(長崎)開催の成功に向けて地元準備委員会を開催

商業・印刷・メディア・郵便等の労働組合で構成されている世界組織UN I（ユニオン・ネットワーク・インターナショナル、140カ国、組合員約1,500万人）の第3回世界大会が2010年11月6～12日、2000人規模（内海外参加者約1,400人）で長崎市・県立総合体育館をメイン会場に開催される。

被爆地長崎からの全世界への発信、知名度アップと地域経済への波及効果に期待が高まっている。98年度連合長崎政策・制度要求に対する回答において金子県知事は「万全の体制をとっていく」と、支援を約束している。

寒さと運動不足に負けず、親睦と交流をはかる

2008年1月24日、諫早市・長崎国際ゴルフ倶楽部で県労福協主催の第1回チャリティゴルフ大会が開催され、64人が参加した。

大会は、18ホールのダブルペリア方式による個人戦で行われ、親睦と交流がはかられた中でチャリティ益金は10万円を超え、福祉施設へ送られることとなった。

<総合成績>

1位	田中賢治（連合長崎）	ネット	70.8
2位	日高勝美（式見ハイツ）	ネット	71.0
3位	中村律夫（JP労組）	ネット	71.2

<ベストグロス>

1位	日高勝美（式見ハイツ）	77
2位	重松文男（全労済）	82
3位	峯 康弘（全駐労）	82



長退連第5回総会

2008年2月20日、長崎県勤労福祉会館で第5回長崎県退職者団体連合会総会が代議員64人中60人の出席で開催された。三菱長船OB会・村川助三郎、SSK-OB会・池田義博、両氏を議長に選出し、廣川豊会長の主催者あいさつの後、高石連合長崎会長、阿部全国退職者団体連合会事務局長、金子長崎県知事、橋本民主党県連代表代行、熊江社民党県連副委員長から来賓あいさつを受け、柏木茂紀事務局長からの経過報告、会計報告、①年金・医療・福祉制度充実強化、②地協における高退連組織結成、③財政基盤充実に向けて10円会費徴収、などの運動方針を満場一致承認した。代議員からは女性参加者・役員の増を求める発言があり、組織として努力していくとの答弁があった。

引き続き廣川豊氏を会長に選出し、四役体制も現行体制が承認された。



第1回連合長崎構成組織女性担当者会議

2008年1月28日、長崎県勤労福祉会館で開催し、2008年度女性委員会方針、年間スケジュールを協議・確認後、職場における男女平等課題と対策、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現に向けた意見交換を行った。

第1回連合長崎男女平等参画推進委員会

2008年1月30日、連合長崎会議室で開催し、連合長崎が取り組んだ「男女平等参画実態調査」の集

約を行った。8構成組織から回答があった（回答率20%）。また、「連合長崎男女平等推進計画」についても、実態調査結果を受けて今後の進め方を協議した。「未報告組織への再要請」「各構成組織の大会における女性代議員の参加目標と実績調査」「女性委員会への役員選出組織の減少対策」「男女平等参画意識醸成に向けて産別・単組トップを対象にした学習会の実施」などの意見が出された。

連合九州ブロック女性会議

2008年2月8日、福岡市で開催され、連合長崎から本多副事務局長、森執行委員（女性委員会委員長）が出席した。連合本部・山口洋子副事務局長より、①職場における男女平等の課題とその改革に向けた取り組み、②改正パート労働法を職場に定着させるための取り組み、③ワーク・ライフ・バランス実現の取り組み、についての提起を受け、各県からこれまでの取り組みについて報告がなされた。

県公務労協春闘学習会

2008年2月1日、長崎県勤労福祉会館で開催し、76人が参加した。河原県公務労協副議長（国公総連）の司会、中崎県公務労協議長（自治労）の主催者あいさつの後、公務労協・吉澤事務局長から公務員制度改革をめぐる情勢、公共サービス基本法制定に向けた国会での取り組みと全国統一行動などについての提起を受けた。



家族でつくったランタンだよ!

2008年1月12日、長崎市民会館の文化ホール・展示ホール・会議室・屋外で第8回人権フェスティバルが開催された。午前中から展示ホールでドラえもんキャラクターショー&記念撮影会やランタン作りに家族で参加し、午後からは辛淑玉(しんすご)さんの講演やロックライブ、人権・さるく(フィールドワーク)などに構成組織からも多くの組合員が参加した。



優勝してしまいました

2008年2月10日、長崎市障害福祉センターで第7回障害者交流卓球大会が開催され、79人(連合長崎、青年委員会から6人)が参加した。大会は3つのクラスに分かれて行われ、連合長崎チームはCチームに出場、田中副事務局長が優勝、本多副事務局長が準優勝した。



冤罪の撲滅に向け人権侵害救済法制定をめざす

◆ 部落解放共闘県民会議第11回総会

2008年1月29日、長崎県勤労福祉会館で部落解放共闘県民会議第11回総会(議長・高石哲夫連合長崎会長)が開催され、連合長崎構成組織、部落解放同盟などの構成団体から62人が参加した。総会ではフィールドワークの企画などの方針・予算を原案通り可決した。総会終了後、今泉熊本県民会議事務局長を講師に学習会を行った。

新たに岩永洋一(連合長崎副会長)・山口渉(部落解放同盟委員長)副議長、宮崎懐良(部落解放同盟書記長)等が選出された。

部落解放共闘長崎県民会議第11回総会



◆ 部落解放九プロ総会

2008年2月7~8日、宮崎市で部落解放九プロ総会が開催、九州各県から88人(長崎県8人)が参加した。総会では、議長に横山連合宮崎会長、事務局長に下田連合福岡事務局長が選出された。総会終了後には各県から1年間の取り組み報告を受け、2日目には山内文代(宮崎県身体障がい者相談役)さん、平野英司(前連合宮崎副事務局長)さんを講師に学習会を開催した。

部落解放共闘九州ブロック県民会議第12回総会・交流会



連合長崎「2008春季生活闘争・第45回衆議院議員選挙闘争勝利、政策・制度要求実現」総決起集会

日時 2008年3月15日(土) 10:30開会

※開会時間が30分早くなっています。

場所 長崎市公会堂前広場

主催 連合長崎・連合長崎地協共催

集会終了後、湊公園までデモ行進を予定しています。